

## 1. 本校の基本方針

- 本校では、Chromebook や他機種のもつ仕様、学校教育活動で必要となる機能等を総合的に判断し、中学部では Chromebook を使用すること、小学部では Chromebook を含むデバイスを使用することを基本方針として進めています。
- 本校では、日本の文部科学省の GIGA スクール構想をもとに、在日の学校に先駆け、2018 年ごろから ICT 教育を学校の柱として進めてきました。COVID-19 の感染拡大によって休校になったときも、導入されていた Chromebook や iPad を各御家庭で御利用いただくことで、オンライン授業を行うことができました。日本の多くの小中学校でも、今では多くの学校で一人一台のデバイスが準備されています。しかし今後数年のうちに、本校を含む日本の多くの学校で、GIGA スクール構想のときに整備したデバイスが寿命を迎える時期を迎えます。現在日本の各自治体では、自治体の財源のみでデバイスを購入（またはリース）していくのか、各御家庭で端末を購入してもらうのか、という判断に迫られています。そこで多くの学校で検討されているのが、BYOD (Bring Your Own Device) という、「自分で使用しているデバイスを学校に持ち込んで、学習に活用する」という方法です。本校は日本の学校の今後の動向、さらには今後の世界的情勢を鑑み、BYOD を推進してまいります。

## 2. 現状と今後の計画（概要）

	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
小 1, 2 年	iPad 貸出	iPad 貸出	iPad 貸出	iPad 貸出
小 3, 4 年	iPad 貸出	iPad 貸出	iPad 貸出	デバイス持参 or Chromebook 貸出
小 5, 6 年	Chromebook 貸出	デバイス持参 or Chromebook 貸出	デバイス持参 or Chromebook 貸出	デバイス持参
中 1 年	デバイス持参	～7 月：Chromebook 持参 or 貸出 8 月～：Chromebook 持参	Chromebook 持参	Chromebook 持参
中 2 年	デバイス持参	Chromebook 持参	Chromebook 持参	Chromebook 持参
中 3 年	デバイス持参	Chromebook 持参	Chromebook 持参	Chromebook 持参

※デバイス持参：Chromebook や iPad などの端末を持参。※Chromebook 持参：Chromebook のみ持参。

## 3. 2023～2024 年度の計画（詳細）

後記の 2025 年度以降の計画に向けて、2023～2024 年度は、次のようにしていきます。

- ①小学部 1～4 年生は、iPad を貸し出します。（各御家庭での購入の必要はありません。）
  - ・低学年は文字を打つことよりも、写真を撮ったり絵を描いたりすることが多いです。
  - ・iPad の方が、アプリを使うことができ、直感的な操作で扱うことができます。
  - ・iPad を使うのは 2 年間のみなので、家庭での購入は負担が大きいです。
- ②小学部 5, 6 年生は、デバイスの持参、または Chromebook の貸し出しとします。
  - ・どの機種でもできる活動がほとんどであるため、持参するデバイスの種類は特に制限はしません。
  - ・中学部では全員 Chromebook を持参することになります。家庭でも活用するためにも、操作に慣れるためにも、本校の中学部に進学する予定がある御家庭は、早めの購入をお勧めします。
- ③中学部生徒は、Chromebook の持参をお願いします。
  - ・Chromebook でしか使えない機能を授業やテストで使うことが多いです。
  - ・Chromebook には後述のような利点・欠点があり、他のデバイスよりも学校生活に適していると考えています。

- ・2023年度の中学部1年生のみ、この説明会から新年度開始までの期間が短いため、1学期末まで限定でChromebookの貸し出しを行います。各御家庭で購入ができれば、持参させてください。2学期以降は全員Chromebookを持参してください。
- ・本年度中学部に在籍の御家庭は、すでに全家庭に案内した通り、来年度からは全員Chromebookを持参してください。

#### 4. 2025年度の計画（詳細）

- ①小学部1,2年生は、iPadを貸し出します。（各御家庭での購入の必要はありません。）
- ②小学部3,4年生は、デバイスを持参、またはChromebookを貸し出しとします。
  - ・Chromebookではなくても授業などの活動を行うことができるため、持参するデバイスの種類は、特に制限はしません。
  - ・貸し出すデバイスの種類はChromebookのみです。直感的に操作できるiPadから、よりパソコンに近いChromebookに移行していくためです。
  - ・小学3年生でローマ字を習うため、物理キーボードを使って入力する活動が増えます。
- ③小学部5,6年生は、全員デバイスを持参とします。
  - ・Chromebookではなくても授業などの活動を行うことができるため、デバイスの種類は問わないことにします。
  - ・家庭での活用も推進するため、学校貸し出しではなく個人購入をお願いします。
  - ・直感的に操作できるiPadから、よりパソコンに近いChromebookに移行します。
- ④中学部生徒は、全員Chromebook持参とします。

#### 5. その他

##### (1) 本校での活用事例

- ・Classroomを使って、課題を配付したり提出したりする活動。
- ・Googleカレンダーを使って、各教科の予定や学校の行事などを共有する活動。
- ・インターネットを使った調べ学習をする場面。
- ・調べたことや学習したことを、スライドやドキュメントにまとめて共有・発表する活動。
- ・スプレッドシートやJamboardを使って、学級会や話し合いをする活動。
- ・スプレッドシートを使って、実験などの数値を表やグラフにしてまとめる活動。
- ・身のまわりの植物や物体などを撮影し、それを共有する活動。
- ・各教科や委員会などの連絡を、Classroomを使って配信する場面。
- ・体育やJSKL活動などで、自分の動きを録画して再確認したり、他と比較したりする活動。
- ・ZOOMを使って、離れた場所を繋いで授業を行ったり、オンライン授業を受けたりする場面。
- ・単元テストや定期テストを受ける場面。（ロックモードを使用）
- ・情報リテラシー、情報モラルについて学ぶ活動。

##### (2) 端末の使用について

- ①御家庭から持参していただくデバイスには、管理ソフトを入れることはしません。御家庭での個人的な使用を制限することは一切ありません。
- ②Chromebookなどの持参していただく端末を学校で充電するスペースは設けていません。充電は御家庭で行っていただきます。充電が切れた場合などは、学校にある端末を貸し出します。
- ③学校が貸し出すデバイスを持ち帰ることはできません。校内での使用のみとなります。よって、家庭で課題に取り組んだり、連絡等を確認したりする場合には、御家庭でデバイスが必要になります。
- ④Chromebookなどの個人持ちデバイスについては、毎日必ず持参するというわけではありません。授業などで使うことがわかっている日のみ、持参してください。（中学部ではほぼ毎日使用しています。）
- ⑤学校内においては、学校生活に関係のない使い方はしない、というルールで活用していきます。

### (3) 購入について

①小学部で使用するデバイスを購入する際には、次のことに御留意ください。

- ・主なメーカーは、Apple、Acer、ASUS、HP、DELL、Lenovo などです。
  - ・画面サイズは9～14 インチを推奨。 ※あまり大きいと机上のスペースがせまくなります。
  - ・PC 型の場合、コンバーチブル（画面が 360° 回転する機能）は、どちらでも可。
  - ・ZOOM や Meet を使用することがあるため、インカメラは必須。アウトカメラはどちらでも可。
  - ・バッテリーは、8 時間以上が目安。
  - ・Wi-fi は、IEEE 802.11a/b/g/n/ac 以上であること。
  - ・日本語入力に対応していること。
  - ・大型テレビに接続することがあるので、HDMI 端子があると便利です。
  - ・破損を防ぐため、本体を保護するケースが必要です。
  - ・有線イヤフォンも合わせて準備してください。高音質である必要はないので安いもので大丈夫です。また、そのイヤフォンを接続する端子が必要です。
  - ・タッチペン、マウスなどの購入は任意です。
  - ・所有者を識別するため、デバイス本体やイヤフォンなどには記名をお願いします。
  - ・スマートフォンは画面が小さく授業等では使いづらいため、持参するデバイスには向きません。
- ※中学部からは全員が Chromebook であるため、現在小学部でも、今後 JSKL 中学部に在籍する可能性のある御家庭は、Chromebook を購入されることをお勧めします。

②中学部で使用する Chromebook を購入する際には、次のことに御留意ください。

- ・主なメーカーは、Acer、ASUS、HP、DELL、Lenovo などです。
- ・画面サイズは9～14 インチを推奨。 ※あまり大きいと机上のスペースがせまくなります。
- ・コンバーチブル（画面が 360° 回転する機能）は、どちらでも可。
- ・ZOOM や Meet を使用することがあるため、インカメラは必須。アウトカメラはどちらでも可。
- ・バッテリーは、8 時間以上が目安
- ・Wi-fi は、IEEE 802.11a/b/g/n/ac 以上であること
- ・日本語入力に対応していること。
- ・大型テレビに接続することがあるので、HDMI 端子があると便利です。
- ・破損を防ぐため、本体を保護するケースが必要です。
- ・有線イヤフォンも合わせて準備してください。高音質である必要はないので安いもので大丈夫です。また、そのイヤフォンを接続する端子が必要です。
- ・マウスがあると便利です。（中学部では 2 割程度の生徒が使っています）
- ・所有者を識別するため、デバイス本体やイヤフォンなどには記名をお願いします。
- ・CPU は Intel Celeron 同等以上
- ・RAM（メモリ）は 4GB 以上。
- ・ストレージ（SSD、HDD、MMC）は 32GB 以上を推奨。

③卒業・転出の予定が決まっておりそれまでの日数が少ない場合、編入してからしばらくの間（購入されるまでの期間）、は学校にある予備機を貸し出すことを検討させていただきます。しかし予備機の台数にも限りがあるため、できるだけご購入にご協力いただきたいです。

### (4) その他

①来年度（2023 年度）のデバイスの持参状況を確認するため、今年度末の 3 月に、来年度のデバイス持参予定についてアンケートを行います。

②Chromebook などのデバイスの耐久年数については、次のように言われています。耐久年数が近くなると、動作の不具合のほかに、バッテリーの寿命が問題となってきます。バッテリーを長持ちさせるには、過充電をしないこと、充電をしながら使わないこと、があげられます。適切な充電方法を継続することで、デバイスを長期間使うことができます。

③本計画は、現在の Chromebook や iPad の仕様と、本校のデバイスの状況をもとに立てた計画であるため、2025 年度以降の計画については変更になる可能性があります。

④Chromebook と他のデバイスとの比較

	Chromebook	iPad	WindowsPC
利 点	安価である 堅牢性が高い セキュリティが高い バッテリーの持ちがよい Google サービスとの相性がよい（操作性が良い）	多くのアプリに対応 直感的に操作できる 世界的に普及している カメラがきれい	会社などで広く使われている 多くの機能を持っており、さまざまなことができる。
欠 点	WindowsPC よりも機能が限定的である オンラインで使用する事が前提である（オフラインでも使用可）	高価である 本体やアプリの機能を超える使い方はできない（機能が限定されている） キーボードを買う必要がある	高価である バッテリーの持ちがよくない 機能が多く、使いこなせないことやトラブルが多い セキュリティが高くない

6. 事前質問への回答

7. 質疑応答（当日）